

# あらかわ 区議会だより

No. 244

平成29年11月12日

平成29年度定例会・9月会議号



荒川公園

～次号の新年号の表紙写真を募集しています。詳しくは20ページをご覧ください～

## おもな内容

- 2ページ 議会活動  
会議の概要  
総括質疑録画中継
- 3ページ 区政のここをきく
- 9ページ 意見書提出

- 9ページ 委員会活動の報告
- 13ページ 議案の審議結果
- 14ページ 決算審査の概要  
監査委員の報告  
決議

- 15ページ 主要施策の成果説明
- 16ページ 主な総括質疑
- 17ページ 決算に対する討論
- 20ページ 視察受入報告

## 議会活動

平成29年7月6日～平成29年10月13日

7月10日～11日

- ・震災・災害対策調査特別委員会  
(表敬訪問及び行政視察)

7月12日～13日

- ・総務企画委員会(表敬訪問及び区外所管施設調査)
- ・福祉・区民生活委員会(区外所管施設調査及び行政視察)

7月18日

- ・財政援助団体調査特別委員会

7月19日

- ・総務企画委員会
- ・福祉・区民生活委員会

7月20日

- ・文教・子育て支援委員会
- ・建設環境委員会

7月24日～25日

- ・議会運営委員会(行政視察)

7月26日

- ・観光・文化推進調査特別委員会

7月27日

- ・健康・危機管理対策調査特別委員会

7月31日

- ・震災・災害対策調査特別委員会

8月1日～2日

- ・文教・子育て支援委員会(表敬訪問及び区外所管施設調査)

8月28日

- ・議会運営委員会

8月30日

- ・総務企画委員会
- ・福祉・区民生活委員会

8月31日

- ・文教・子育て支援委員会
- ・建設環境委員会

9月11日

- ・議会運営委員会

9月12日

- ・本会議

9月13日

- ・本会議

9月14日

- ・総務企画委員会
- ・福祉・区民生活委員会

9月21日

- ・文教・子育て支援委員会
- ・建設環境委員会

9月25・26・28・29日

10月2・3・5日

- ・決算に関する特別委員会

10月6日

- ・震災・災害対策調査特別委員会

10月12日

- ・議会運営委員会

10月13日

- ・本会議

太字は本会議期間中です。



## 9月会議の概要

～平成28年度一般会計決算ほか3特別会計決算を認定～

平成29年度荒川区議会定例会・9月会議は、9月12日から10月13日までの32日間の会議期間で開かれました。

9月会議の1日目と2日目にかけて、8人の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました

(要旨は3～9ページに掲載しています)。

9月会議では、議案30件が提出されました。このうち平成28年度決算4件は、決算に関する特別委員会を設置して審査を行いました(議案の審議結果は13ページに掲載しています)。

## 総括質疑の録画中継を区議会ホームページで配信しています

平成29年度荒川区議会定例会・9月会議における決算に関する特別委員会より総括質疑の様様を従来のケーブルテレビの放送に加え、区議会ホームページでも録画配信しています。ぜひご視聴ください。



▲9月会議の様子

# 区政のここをきく

## 一般質問要旨



### 荒川遊園のリニューアルと今後の街づくりを問う

服部敏夫 (自民党)

#### 荒川遊園のリニューアルを問う

**問** 観覧車をはじめとした大型遊戯施設の改修は有効な投資だと考え、思い切った改修を求める。また、しばふ広場のエリア拡充や一球さん号のカフェへの改修等で賑わいを呼べるものとすることを求める。さらに、大人の利用者を増やすため、園内のイルミネーション装飾や開園時間延長は有効であると考え。荒川遊園拡張用地部分は、ツリーハウスやアスレチック設備を設置し、自然体験可能なエリアにしてはどうか。

**答** 未来への投資という視点から必要な経費はしっかりと投入し、街全体の賑わいに繋がる魅力的な施設を目指す。観覧車やしばふ広場等のハード面の改修に加え、各種イベントの開催に合わせた開園時間延長及びイルミネーションの整備等、ソフト面の更なる充実も検討していく。荒川遊園がこれまで以上に魅力ある施設となるよう、鋭意リニューアルに取り組む。



◀あらかわ遊園の観覧車

**問** 荒川遊園への集客を増やすため、コミュニティバスを活用した区内の各エリアや主要駅との連携を意識した回遊ルートを設定してはどうか。また、都電沿線4区との連携、都交通局との連動をさらに進め、更なる来園者の誘致を図るべきと考えますが、区の見解を問う。

**答** 新ルートの実行は、事業採算性等の課題はあるが、今後も運行事業者の京成バスと検討を進めていく。また、都電荒川線は荒川遊園に一番近い公共交通機関として、昨年3月に停留場の改修を行ったところであり、今後、交通局や沿線4区と連携して荒川遊園PR策の検討を行う。

#### 今後の街づくりを問う

**問** 京成町屋駅前をはじめ、隅田川に架かる鉄橋から日暮里の常磐線と交差するところまでの高架下の空間は豊富にある。京成電鉄の高架下という全天候型の空間を活かして、地域活性化に繋がる活用を行うべきと考えるが、区の見解を問う。

**答** 区からの要望を受け、京成電鉄は駐輪場の整備を行い、保育施設を建設中である。今後も高架下の活用について、地域活動や賑わいの創出等に繋がるよう京成電鉄に積極的に働きかけを行う。

**問** 藍染川西通りの貨物線踏切から新三河島駅までの区間は、下水道局と協力して臭気対策工事が完了している。順次、藍染川通りを町屋駅方向に対策工事を進めると聞いているが、現在の取り組み状況を問う。

**答** 藍染川西通りで雨水樹と藍染川幹線の間で新しく下水道を布設する工事を実施した。これにより、臭気が漏れることを防止するとともに、大雨の際の雨水貯留効果が期待できる。藍染川通りでも同様の整備を実施する予定である。

**問** ゆいの森の前面道路を「緑道」として整備する計画があるとのことだが、この緑道を活かし、ゆいの森と荒川自然公園を直接結べば、区民の利便性が高まると考える。ゆいの森周辺の一体感や回遊性を向上させる方法の検討を求める。

**答** 緑道を含めて、ゆいの森と荒川自然公園一帯を連続する動線として繋げることは、ゆいの森のコンセプトにも合致し、災害時の避難経路を確保する上でも有効である。様々な課題もあるが、施設間の連続性のあり方について検討を行っていく。

#### その他の質問項目

- 児童増加への今後の対応策等について
- 災害等への対策について
- 都市間交流の発展について
- 児童養護施設について
- コミュニティカレッジの成果と今後について



「ゆいの森あらかわ」の更なる充実と地域包括ケアシステムの強化を問う

吉田詠子 (公明党)

**「ゆいの森あらかわ」の更なる充実を問う**

**問** 「ゆいの森あらかわ」をさらに親しみのある使いやすい施設にするため、利用者からの声を収集してはどうか。回収箱を用意し、「区民の声アンケート」実施の検討を求める。

**答** 区長に寄せられる「区民の声」に加え、この夏には、回収箱を設置し、アンケートを実施した。これからもより多くの皆様の意見を聞きながら、職員が知恵を出し合い、更なる充実を図っていく。

**問** 館内の一角に写真や絵画等、見て楽しめるスペースを設け、区の時代の移り変わりを写真等で展示してはどうか。また、昭和版「あらかわ横丁」等、当時の街並みを立体的に再現してはどうか。

**答** 高齢の方等がほっとできるよう、時代の変遷をたどる写真等を展示するほか、障がい者アーティストの絵画展等、様々な工夫をしていく。

**問** 「ゆいの森あらかわ」主催の講座として、専門家にアドバイスを受け、世界に一つだけの「自分史づくり」を実施してはどうか。また、講座の1回目には、「一枚自分史」を作成してはどうか。

**答** 「自分史」を書く際には、事実の確認や歴史的背景等を詳しく調べる必要があることから、豊富な蔵書を有する「ゆいの森あらかわ」は、最適の場所である。今後、自分史づくり講座の実施に向け、手法も含め検討を進める。

**地域包括ケアシステムの強化を問う**

**問** 本人の意思を最大限に尊重した在宅医療・介護体制を可能な限り実現することを要望する。在宅医療と介護、看取りの取り組みや相談窓口はあま

り知られていない。区民向けに普及啓発やインターネットを活用した周知、町会等への出前講座を行うてはどうか。さらに、様々な研修を通し、ケアマネジャーのスキルアップを要望する。

**答** 区では、在宅療養を支える体制の構築を進めている。昨年度、一般的なホスピスや在宅看取りについての講演会を開催し、多くの参加者が集まった。今年度は、在宅での看取りの現状についての講演会を予定している。区のホームページでの情報発信や町会等での出前講座開催も含め、効果的な周知方法を検討する。ケアマネジャーに対しては、ケアマネジメントの質の向上に向けた取り組みを推進してきた。今後も重点的に支援していく。

**問** まだサポーター養成講座を開催していない小中学校で講座を開催し、認知症サポーターを全校に拡大することを求める。また、研修講座等を通して、認知症サポーターのステップアップを求める。

**答** 小中学校において、既に延べ1,300名が受講している。今後も全小中学校での開催に向け、教育委員会と連携を図り進めていく。認知症サポーターにはステップアップ講座を開催し、知識が行動に繋がるよう、働きかけを進めている。今後も講座の充実を図っていく。

**その他の質問項目**

- いじめ対策について
- 医療対策について



▲ゆいの森あらかわのテラス



第7期高齢者プラン策定とど  
の子にも豊かな成長のための  
環境整備及び子どもの貧困対  
策を問う

横山幸次 (共産党)

高齢者の暮らしと尊厳を守ることのできる第7期  
高齢者プランの策定を問う

**問** 介護保険料は、介護保険準備基金だけでなく、  
一般財源も投入して引き下げを行うとともに、低  
所得者への減額制度を抜本的に拡充すること。

**答** 区としては、厚労省の通知により一般財源の投  
入を行う考えはない。また、低所得者への減額に  
配慮した区独自の保険料設定をしている。

**問** 高齢者が住み慣れた地域で住み続け、区外施設  
入所者も区内に戻ることができる高齢者向け住宅  
等の整備計画を第7期プランで明確にすること。

**答** 第7期プランでは、様々な可能性を検討し、施  
設の確保に努める。都市型軽費老人ホーム等の民  
間主導の整備に対する支援も検討する。

**問** 経済的負担軽減のため、おむつ代の所得制限撤  
廃、シルバーカー等の購入支援、重介護高齢者へ  
の手当支給等、区独自の支援を検討すること。

**答** 現在区では、利用者の実情にあった各種助成事  
業等を展開している。また、車いすの貸し出しや  
紙おむつ券等、多様なサービスを用意している。

どの子にも豊かな成長のための環境整備と子ども  
の貧困対策を問う

**問** 園庭のない保育園は、代替公園にトイレ、遊具、  
日よけ等、必要な整備を行うとともに、安全で気  
軽に公園に出かけられるよう人員配置を求める。

**答** 乳幼児の利用を想定して公園・児童遊園の安全  
点検や修繕が実施されている。また、公園等に出  
かけるときは、2人以上の保育士が引率している。

**問** 区が目指す保育園の園庭や保育士の配置をはじ  
め、保育園環境整備の方向性や保育の質を明確に  
したガイドラインを策定すること。また、区民へ  
の公表、区内全園への周知を行うこと。

**答** 保育園の開設にあたり、都の基準を適正に運用  
するとともに、区独自の要件を上乗せし、保育の  
質向上に努めている。また、指定管理者への実績

評価等により事業者の指導・監督を行っている。

**問** 子どもの貧困対策として、就学援助入学準備金  
の入学前支給を小学校入学まで拡大すること。ま  
た、学校給食や教材教具の公費負担拡大等、義務  
教育費負担軽減等、思い切った対策を求める。

**答** 小学校一年生を対象とした入学準備金は研究  
を進める。経費については、専ら児童生徒が消費、  
使用するものは保護者負担としている。

その他の質問項目

- 日本政府へ核兵器禁止条約締結の働きかけを行  
い、「非核平和都市宣言」へ改定すること
- 国民健康保険広域化に対し、保険料試算の公表  
と保険料引き下げの働きかけを行うこと
- 図書館の一層の充実を目指して
- 想定を超えた自然現象への対応を加味した地域  
防災計画の修正と実効性ある対策を講じること
- 誰もが安心できる住宅を確保するために、横断  
的に住宅問題に取り組む住宅課を設置すること
- 販路拡大に向けて、区内事業者が発信できる場  
の提供等、様々な取り組みを検討実施すること



▲公園で遊ぶ園児達

## 声の区議会だより

荒川区議会では、目の不自由な方のために、区  
議会だよりを朗読した「声の区議会だより」を発  
行しています。平成28年度より、カセットテー  
プ版に加え、新たにデジCD版も発行してい  
ます。ご希望の方は、議会事務局までご連絡くだ  
さい。

内線3616



団塊ジュニア世代に対する  
区の認識と「多重介護」の実  
態と支援を問う

清水啓史 (民進党)

団塊ジュニア世代に対する区としての認識を問う

**問** 社会の支え手の団塊ジュニア世代を支援することは、結果として雇用の安定、税収増に繋がり、高齢者施策の展開、子どもの貧困解消、教育の充実へと向かう。状況を認識し、施策に取り組むことが必要だと考えるが、区の見解を問う。

**答** 区はこれまでも、様々な施策を展開してきた。「幸福実感都市あらかわ」の実現に向け、区の中核となる「団塊ジュニア世代」への支援の充実も含め、活力ある地域社会の実現を目指していく。

複数の家族を同時に介護する「多重介護」を問う

**問** 介護を支える家族の状況は、介護保険制度設計時と変化している。また、要介護者と家族が別の自治体に住む際は、複数の自治体、病院等と関わることになる。支え手の支援が、結果として質の高い介護に繋がると考える。介護者に寄り添った対応が重要だと考えるが、区の見解を問う。

**答** 区では、要介護者と介護者の双方に寄り添ったケアプランが作成できるよう、ケアマネジャーに対し支援を行ってきた。今後も研修の充実等を通して、ケアマネジャーのスキルアップを進めるとともに、介護者を支える高齢者福祉サービス等の充実を図っていく。

その他の質問項目

- 親の終活や介護等に関する、その子どもへの情報発信について
- 土砂災害防止法に基づく区域指定への対応について



◀ケアマネジャー研修の様子



安全安心の地域社会と北朝鮮の戦争行為に対する基礎自治体の対応を問う

小坂英二 (日本創新党)

安全安心の地域社会の為に

**問** 民泊の実態把握・情報収集・相談体制の確立をし、区独自の規制強化と違法案件の速やかな情報開示を求める。

**答** 民泊新法の趣旨や今後示される政省令を踏まえ、区民が安心できる仕組みを作っていく。

**問** 独居高齢者へ官民連携の終活支援を求める。プランの作成、保存、関係機関との連絡等をスムーズに実施することを求める。

**答** 民間サービスの状況等、研究していく。

北朝鮮による戦争行為に対して基礎自治体としてなすべきこと

**問** 朝鮮学校への外国人学校保護者補助金は北朝鮮のミサイル・核開発への加担であり即時、廃絶を。

**答** 現時点では補助金の廃止は考えていない。

**問** 自衛隊との連携を強め、防衛意識向上の啓発を推進すべき。児童生徒に見学ツアー等の実施を。

**答** 学習指導要領に基づいて、適切に自国の防衛等の学習を進める。自衛隊の施設見学等は、各学校が編成した教育課程をもとに検討する。

**問** 「大切なものは戦ってでも守る覚悟・姿勢・備え」こそ戦争や破壊を防ぐという「歴史の真実」を踏まえた教育をなすべきである。

**答** 児童生徒が我が国の歴史について正しく理解するとともに、人権尊重の精神と生命を尊ぶ心を育むよう指導していく。

その他の質問項目

- 教育の各分野での適正化を



◀地域包括支援センターでの相談の様子



## 東京女子医大東医療センター 移転と地籍調査を問う

藤澤志光 (改革の会)

### 東京女子医大東医療センター移転を問う

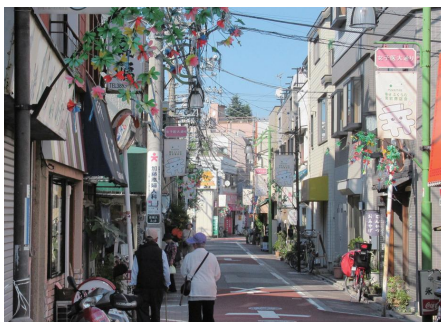
**問** 荒川区内に災害拠点病院がなくなった時、区はどう対応するか。また、東医療センター移転による地域医療の崩壊、地域の空洞化にどう対応するか。さらに、足立区への所有地払い下げの際、都は反対している荒川区に同意を求めると考えられる。区はどう対応するか。条件付きで認めることはあるか。

**答** 東医療センターの移転については、これまで一貫して反対の立場で対応してきたが、一方であらゆる事態に備え、災害拠点病院、地域医療機能の確保、地域の活性化の観点から、万全を期して準備を行っている。所有地の足立区への売却については、現時点において、条件付きという点も含め、都から回答は受けておらず、区から条件を提示することも考えていない。

### 荒川区の地籍調査を問う

**問** 想定される震災後、一刻も早く復興ができるよう地籍調査事業を進めることが求められる。区の進捗状況はどうか。また、23区の中で進捗率は何番目か。区はできるだけ早く地籍調査を進めるべきと考えるが、区の見解を問う。

**答** 東日本大震災を契機に、平成26年度から地籍調査を開始している。進捗率は特別区全体の平均が約11%の中、荒川区は現在約1%であり、下位に位置していると認識している。約50%の地域が完了している敷地調査を活かしながら、着実な地籍調査の実施に取り組む。



女子医大通り 宮前商店会



## 人口減と将来の成長戦略及 び次代に生きる教育を問う

明戸真弓美 (自民党)

### 人口減と将来の成長戦略を問う

**問** 保育園入園の手続きが複雑になってきている。総合的に相談する体制について区民から要望を受けている。そこで、国でも「子ども・子育て支援新制度」の中で提唱している「保育コンシェルジュ」設置を提案するが、区の見解を問う。

**答** 保育課職員が「保育コンシェルジュ」の役割を担い、保護者に寄り添いながらニーズを把握し、丁寧な相談対応に努めている。今後も相談体制の更なる充実を図る。

**問** オリンピック・パラリンピックを契機と捉え、ラジオ体操促進による大会機運の醸成を実施してはどうか。また、子どものスポーツ活動充実とともに、親子でのスポーツ参加の機会をつくる必要があると考えるが、区の見解を問う。

**答** ラジオ体操はラジオ体操会連盟と連携して実施している。また、子どもと親世代と一緒に運動できる機会の提供に努めてきた。オリンピック・パラリンピックを好機と捉え、スポーツ振興を図る。

**問** 昨今インスタグラムが流行している。区内で「インスタ映え」する写真を撮ってもらい、一般の方に区をPRしてもらおう戦略を考えてはどうか。そのために、駅前等のイルミネーション実施や花のディスプレイ設置はどうか。また、オリンピック・パラリンピック開催に向けた観光戦略を問う。

**答** 昨年10月、日暮里駅構内に観光案内所を開設し、観光案内の情報提供を行っている。今後、更なる観光客の区内誘客を図る。オリンピック・パラリンピックを国内外への荒川区PRの好機と捉え、区を訪れた観光客がインスタグラム等のSNSを用いて、区の魅力を発信してもらえようイルミネーションの活用等、引き続き努力する。

### 次代に生きる教育を問う

**問** 若者の投票率低下が危惧され、主権者教育の充実が叫ばれている。「親子で選挙に行こうキャン

ペーン」等を行い、選挙啓発に繋げてはどうか。また、模擬投票の体験や話し合いを通じた合意形成の場を設ければ、子ども達が将来、主体的に社会と関わっていける主権者となるのではないか。

**答** 模擬選挙等の体験的な教育を進める。また、話し合い活動を通じた学びを実現し、子ども達が自立し、周囲の人々と連携・協働しながら生き抜く力や主体的に担う力を育むことができるよう、より一層、主権者教育を推進していく。

**問** 今後、情報教育やタブレットPCの活用を進めていく上で、小学校で平成32年に必修化が予定されているプログラミング教育やタブレットPCを使った作品コンテスト「デジタル・アート・コンテスト」等、新たな展開について見解を問う。

**答** プログラミング教育は、論理的思考力を育てる上で効果的である。今後のタブレットPCの活用は、自動採点機能付きドリル教材の「あらかわ・スマート・スタディ」等を実施する。「デジタル・アート・コンテスト」は検討していく。現在、タブレットPC導入の成果と課題、方向性の検証作業を進めており、教育の質向上を図っていく。

**問** 区では、子ども達の宿泊を伴う自然体験事業を行っている。日帰り活動でも十分に自然体験から効果が得られると考えるが、日帰りの自然体験について区の見解を問う。

**答** 本年6月、日帰りの自然体験として、潮来市での田植え体験ツアーを実施した。今後も、子ども達の自然体験活動が広がるよう支援を行う。

**その他の質問項目**

- 2025年問題を抱える介護
- ボランティアの活動環境



▲田植え・いも苗植え体験・バスツアーの様子



**スポーツ振興策と防災対策を問う**

**松田智子 (公明党)**

**スポーツ振興策を問う**

**問** 誰もが気軽に取り組める運動の一つとしてウォーキングがある。そこで、「歩育」を足掛かりに区民に広く周知し、スポーツ人口を増やしていくべきと考えるが、区の見解を問う。

**答** 区は、ウォーキング教室やイベントを開催する等、スポーツの裾野を広げる取り組みを推進している。「歩育」の考え方は、あらゆる世代がウォーキングをする上でベースとなるものである。

**問** 全小中学校へ障がい者スポーツ選手の講師を派遣し、共生社会を身に付けてもらいたいと考える。昨年9月会議で質問した日本サッカー協会が進める「夢先生」事業を活用してはどうか。

**答** 議員提案の事業も参考にし、障がい者スポーツ選手と直接交流できる機会を充実し、障がい者理解教育を一層推進していく。

**問** 障がい者と健常者が共に競技するイベントを開催してはどうか。その際、会場にパネル等で掲示して、障がい者に関するマークの周知を徹底し、障がい者への理解と協力を求めてはどうか。

**答** 障がい者と健常者が共に参加できるスポーツイベントの充実を図る。今後、様々なイベントで「ヘルプマーク」等の障がい者に関するマークの積極的な周知に努める。

**防災対策を問う**

**問** AED設置場所選定の目安は心停止から5分以内に使えるかである。AED設置の促進を図るとともに、区営掲示板等に誘導表示を求める。また、AEDや心肺蘇生の訓練の充実を求める。

**答** 区では354台のAEDを設置しているが、本年度は町会事務所内のAEDを屋外設置し、必要な時に使えるAEDの充実に取り組んでいる。区の施設では設置の掲示を行っているが、周知について引き続き検討を重ねる。また、救命に役立つ応急手当講習等、様々な取り組みを積極的に行う。



**問** 区では様々な単位で防災対策を行っている。しかし、全ての地域で避難所開設訓練ができていないのが現状である。危機管理アドバイザー等にアドバイスをもらい、毎年の防災訓練をステップアップし、防災格差を解消していくべきと考えるが、区の見解を問う。

**答** 区は、進捗の遅れている避難所に重点的な支援・啓発を行っている。今後も専門家のアドバイスをもらいながら工夫を重ね、適切な進行別管理を行って各避難所運営のレベルアップを図る。

**問** 各地域で行う避難訓練は、基本的に男性が中心となり行っているが、女性の参加を募り、女性防災会議を開催し、机上での訓練等で段階を踏み、女性だけの防災訓練を行ってはどうか。

**答** 女性の防災行動力の高揚は地域防災力の向上に繋がると考える。女性を対象とする、もしくは女性も参加しやすい訓練機会の創出に努める。

### その他の質問項目

- 自転車利用安全対策について
- 西日暮里駅周辺の街づくりについて



▲ウォーキング教室の様子

## 意見書提出

9月会議では意見書2件を可決しました。

小中学校におけるプログラミング教育必修化に対して支援を求める意見書

(内閣総理大臣・文部科学大臣・経済産業大臣あて)

受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書

(衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・厚生労働大臣あて)

## 委員会活動の報告

### 議会運営委員会

小坂 眞三 委員長

7月24日～7月25日

#### ◆行政視察

- ①青森県弘前市
  - ・委員会のインターネット中継について 等 (24日)
- ②青森県黒石市
  - ・黒石市議会の議会運営、委員会運営について (25日)

8月28日

#### ◆9月会議について

- ①9月会議・初日の開会日について
- ②提出予定案件について
- ③9月会議の会議期間について 等

#### ◆陳情審査

- ①平成27年度第45号陳情
  - 純粋に荒川区議会における区旗及び国旗の掲揚並びにこれに対する敬礼を求める陳情書
- ②平成28年度第1号陳情
  - 純粋に荒川区議会における都旗の掲揚を求ることに関する陳情書

#### ◆行政視察の集約について

9月11日

#### ◆9月会議について

- ①決議について
- ②陳情書の受理について 等

10月12日

#### ◆9月会議の最終日について

- ①意見書について
- ②陳情書の受理について



▲青森県弘前市での研修の様子

# 常任委員会

## 総務企画委員会

明戸 真弓美 委員長

7月12日～7月13日

### ◆表敬訪問及び区外所管施設調査

- ①北杜市役所【表敬訪問】（12日）
- ②旧八ヶ岳キャンプ場及び清里高原ロッジ・少年自然の家（12日）

7月19日

### ◆区内視察

- 日暮里専門ハローワーク取扱状況及び連携状況について

8月30日

### ◆9月会議提出予定案件について

- ①平成29年度荒川区一般会計補正予算（第2回）について
- ②平成29年度荒川区国民健康保険事業特別会計補正予算（第1回）について 等

### ◆所管事務事業説明

- 指定管理施設に関わる平成28年度の実績評価結果について 等

9月14日

### ◆付託された議案について

- ①議案第13号 平成29年度荒川区一般会計補正予算（第2回）
- ②議案第14号 平成29年度荒川区国民健康保険事業特別会計補正予算（第1回） 等

### ◆所管事務事業説明

- ①平成29年度行政評価（平成28年度決算版）の結果について
- ②「平成28年度荒川区包括年次財務報告書」について ほか



▲マザーズハローワークでの研修の様子

## 文教・子育て支援委員会

若林 清子 委員長

7月20日

### ◆所管事務事業説明

- ①平成30年度区立小中学校入学生を対象とする学校選択制度の実施について
- ②平成28年度荒川区包括外部監査の指摘事項及びその改善策について 等

8月1日～8月2日

### ◆表敬訪問及び区外所管施設調査

- ①下田市役所【表敬訪問】（1日）
- ②下田臨海学園（1日）

8月31日

### ◆9月会議提出予定案件について

- ①平成29年度荒川区一般会計補正予算（第2回）について【文教・子育て支援委員会関係】
- ②荒川区民会館の指定管理者の指定について
- ③日暮里サニーホールの指定管理者の指定について 等

### ◆所管事務事業説明

- ①就学援助費及び就学奨励費にかかる入学準備金の入学前支給について
- ②平成30年度から使用する小学校「特別の教科 道徳」教科用図書の採択結果について 等

9月21日

### ◆付託された議案について

- 議案第12号 荒川区学童クラブの運営に関する条例の一部を改正する条例 等

### ◆所管事務事業説明

- 福井県ふるさと文学館と吉村昭記念文学館との協定の締結等について



▲下田臨海学園での研修の様子

## 福祉・区民生活委員会

吉田 詠子 委員長

7月12日～7月13日

### ◆区外所管施設調査及び行政視察

- ①ホテルグリーンパール那須（12日）
- ②宮城県仙台市  
・認知症対策について（13日）

7月19日

### ◆区内所管施設調査

- 「尾久生活実習所あらかわ希望の家」の活動状況について

### ◆区外所管施設調査（グリーンパール那須）及び行政視察の集約について

8月30日

### ◆9月会議提出予定案件について

- ①南千住ふれあい館の指定管理者の指定について
- ②荒川山吹ふれあい館の指定管理者の指定について 等

### ◆所管事務事業説明

- 平成28年度ふれあい館（13館）の実績評価結果について 等

9月14日

### ◆付託された議案について

- ①議案第23号 南千住ふれあい館の指定管理者の指定について
- ②議案第24号 荒川山吹ふれあい館の指定管理者の指定について 等

### ◆所管事務事業説明

- ホテルグリーンパール那須における区民利用優先枠の変更について ほか



▲宮城県仙台市での研修の様子

## 建設環境委員会

安部 キヨ子 委員長

7月20日

### ◆所管事務事業説明

- 荒川もったいない大作戦（食品ロス削減事業）の推進について

8月31日

### ◆9月会議提出予定案件について

- ①荒川区民住宅及び荒川区従前居住者用住宅の指定管理者の指定について
- ②荒川区自転車等駐車場の指定管理者の指定について
- ③荒川区自転車等駐車場の指定管理者の指定について

### ◆所管事務事業説明

- ①平成28年度荒川区民住宅等の実績評価結果について
- ②荒川区民住宅等の指定管理者候補者の選定結果について
- ③平成28年度荒川区自転車等駐車場の実績評価結果について
- ④荒川区自転車等駐車場の指定管理者候補者の選定結果について 等

9月21日

### ◆付託された議案について

- ①議案第29号 荒川区自転車等駐車場の指定管理者の指定について
- ②議案第30号 荒川区自転車等駐車場の指定管理者の指定について 等

### ◆委員会付託事項

- 陳情について



▲センターまちや自転車駐車場

# 特別委員会

## 震災・災害対策調査特別委員会

齋藤 泰紀 委員長

7月10日～7月11日

### ◆表敬訪問及び行政視察

- ①福島市役所【表敬訪問】(10日)
- ②福島県福島市(10日)

7月31日

### ◆行政視察の集約

- 友好交流都市福島市の行政視察について  
ほか

10月6日

### ◆調査研究事項

- 荒川区地域防災計画の修正方針案について



◀福島県福島市での研修の様子

## 観光・文化推進調査特別委員会

横山 幸次 委員長

7月26日

### ◆調査研究事項

- 俳句のまちあらかわフォト俳句コンテストの実施内容(案)について



◀松尾芭蕉像

## 健康・危機管理対策調査特別委員会

菊地 秀信 委員長

7月27日

### ◆調査研究事項

- 最近の特殊詐欺被害の状況及び対策について



▲電話機に取り付ける電話自動通話録音機

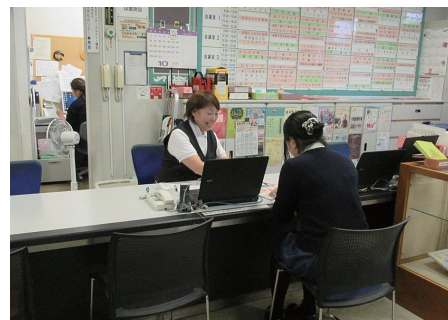
## 財政援助団体調査特別委員会

菅谷 元昭 委員長

7月18日

### ◆調査研究事項

- 荒川区芸術文化振興財団について



▲荒川区立町屋文化センター受付の様子(荒川区芸術文化振興財団が指定管理)

# 議案の審議結果

平成29年度定例会・9月会議

○ 賛成 × 反対 - 退席 太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名		会派名・結果 (数字は会派人員)							結果	
		自 民 党	公 明 党	共 産 党	民 進 党	元 気 フ ラ ワ	日 本 創 新 党	改 革 の 会		市 民 の 会
		13	6	5	2	1	1	1	1	
<b>議員提出議案(3件)</b>										
第4号	北朝鮮の弾道ミサイル発射及び核実験に対する抗議決議について	○	○	○	○	-	○	○	○	可決
第5号	小中学校におけるプログラミング教育必修化に対して支援を求める意見書提出について	○	○	×	○	×	×	○	○	可決
第6号	受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書提出について	○	○	×	○	×	○	○	×	可決
<b>区長提出議案(27件)</b>										
第11号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第12号	荒川区学童クラブの運営に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第13号	平成29年度荒川区一般会計補正予算(第2回)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第14号	平成29年度荒川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第15号	平成29年度荒川区介護保険事業特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第16号	荒川区民会館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第17号	日暮里サニーホールの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第18号	荒川区ムーブ町屋の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第19号	荒川区立町屋文化センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第20号	荒川区立生涯学習センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第21号	荒川区立清里高原少年自然の家及び荒川区立清里高原ロッジの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第22号	荒川区立夕やけこやけ保育園の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第23号	南千住ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第24号	荒川山吹ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第25号	町屋ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第26号	尾久ふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第27号	夕やけこやけふれあい館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第28号	荒川区営住宅の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第29号	荒川区自転車等駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第30号	荒川区自転車等駐車場の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第31号	荒川区民住宅及び荒川区従前居住者用住宅の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第32号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(村井泰雄氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	適当との意見
第33号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(榊眞理子氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	適当との意見
認 第 1 号	平成28年度荒川区一般会計歳入歳出決算	○	○	×	○	×	×	○	○	認定
認 第 2 号	平成28年度荒川区国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	×	○	×	○	○	○	認定
認 第 3 号	平成28年度荒川区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	×	○	×	○	○	○	認定
認 第 4 号	平成28年度荒川区介護保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	×	○	×	○	○	○	認定

## 平成28年度 決算を認定

平成28年度一般会計歳入歳出決算ほか3特別会計歳入歳出決算については、議長・監査委員を除く全議員で構成される決算に関する特別委員会(委員長=並木一元、副委員長=松田智子)を設置しました。9月25日から審査を行い、いずれも認定することに決定しました。



▲委員長挨拶の様子

## 監査委員による決算審査の報告

平成28年度決算審査については、関係諸帳簿及び証拠書類との照合を行うとともに、関係職員から説明を聴取する等の方法により実施しました。

その結果、決算計数に誤りはなく正確であり、決算内容、予算の執行状況等も適正と認められましたので、その旨の審査意見を区長あてに提出いたしました。

区は、介護予防の強化や子育て環境の整備、防災・減災対策の推進等、区民の安全安心の更なる向上をはじめ、地域力の強化や連携、文化や経済の活性化等に迅速かつ積極的に取り組みました。

このような取り組みを踏まえ、極めて健全な財政運営に努めていると評価できます。しかしなが

ら、区財政の先行きは決して楽観視できないと考えております。

今後とも、歳入、歳出の両面から健全な財政運営に向けた取り組みを確実に推進するよう切望します。なお、平成28年度の新公会計制度導入により、より精緻な行政コストの把握が可能となりました。この利点を今後の行財政運営に大いに活用することを期待します。

以上、審査の結果を申し上げましたが、私ども監査委員は、その使命を重く受け止め、区民の信頼と期待に応えるべく引き続き、万全を期してまいります。議員及び理事者、職員のご理解とご協力をお願いし、報告とさせていただきます。

○9月会議で決議についての議案が可決されました。内容は以下のとおりです。

### 北朝鮮の弾道ミサイル発射及び核実験に対する抗議決議

8月29日、北朝鮮が日本上空を通過する形で弾道ミサイルを発射した。

また、9月3日には6度目となる核実験を実施したと発表した。

我が国並びに国際社会が、北朝鮮に対し再三にわたり強く自制を求めていたにも関わらず、これらの行為が強行されたことは、我が国の安全のみならず、広く国際社会の平和と安定に対する重大な脅威であり、断じて容認できない。

今回の北朝鮮の挑発的行為は、一連の国際連合安全保障理事会決議に明確に違反するものである。

よって、荒川区議会は、北朝鮮に対し、この度の核実験等に厳重に抗議するとともに、北朝鮮が核兵器の開発を含め、あらゆる軍事的な挑発行為を放棄するよう強く求める。

以上、決議する。

平成29年9月12日

荒川区議会

# 平成28年度 決算の概要

		予算現額	歳入（収入率）	歳出（執行率）	歳入歳出 差引残高
一般会計		1,054億2,167万7,000円	1,002億2,474万397円 (95.1%)	977億4,057万9,849円 (92.7%)	24億8,416万548円
特別会計	国民健康保険 事業	299億9,407万8,000円	288億9,863万5,297円 (96.3%)	286億56万2,856円 (95.4%)	2億9,807万2,441円
	後期高齢者 医療	45億1,800万円	43億8,752万8,690円 (97.1%)	43億3,762万2,512円 (96.0%)	4,990万6,178円
	介護保険 事業	170億787万8,000円	160億3,553万9,541円 (94.3%)	156億6,595万5,104円 (92.1%)	3億6,958万4,437円
計		1,569億4,163万3,000円	1,495億4,644万3,925円	1,463億4,472万321円	32億172万3,604円

## 平成28年度

## 荒川区主要施策の成果説明 （一部抜粋・要旨）

### 生涯健康都市

#### ○高齢者生活支援ガイドブックの作成

地域包括ケアシステムや介護保険制度、福祉や生活支援サービスの紹介、地域の様々な生きがいづくりの事業や地域活動情報等、高齢者に役立つ様々な情報を網羅した冊子を作成し、広く高齢者に配布した。

### 子育て教育都市

#### ○にこにこすくーるの拡大及び放課後子ども総合プランの本格実施

新たに7校において、にこにこすくーるを開設した。また、放課後子ども教室と学童クラブを併設している学校について、両事業を利用する児童が体験プログラムと一緒に参加できる「放課後子ども総合プラン」を本格実施した。

### 産業革新都市

#### ○（仮称）日暮里地域活性化施設の整備

日暮里地域をさらに活性化させる様々な機能を融合させた施設の整備を行うべく、建物の設計に着手した。

### 環境先進都市

#### ○あらかわりサイクルセンターの開設

ペットボトル等の中間処理の推進とともに、小中学校や町会等を対象とした施設見学会の実施や紙すき等を行う教室を開き、区民一人ひとりの「R」の意識の向上を図った。

### 文化創造都市

#### ○ゆいの森あらかわの開館

平成29年3月26日に中央図書館、吉村昭記念文学館、ゆいの森子どもひろばを融合させた「ゆいの森あらかわ」を開館した。

### 安全安心都市

#### ○公園への防犯カメラの設置

駅周辺や区境、通学路等に加え、全ての区立公園において防犯カメラを設置することにより、さらに安全な地域社会の実現に向けて取り組んだ。

### 計画推進のために

#### ○荒川区職員ビジネスカレッジ

2年課程の「本科課程」、短期間での専門知識の取得を支援する「実務専門課程」、自宅での学習を支援する「通信教育支援コース」、管理職を対象とした大学院等、多彩なカリキュラムを実施した。

## 主な総括質疑

### 自民党 志村 博司 委員

- ・西川区政13年間の取り組みの評価と今後の決意について
- ・荒川区の地価上昇率が都内で1位であるという報道に対する感想について
- ・児童生徒数の推移を踏まえた学校規模の適正化、通学区域の見直しについて
- ・東京女子医大東医療センター移転計画に対するあらゆる事態を想定した準備について

### 自民党 町田 高 委員

- ・区での児童相談所設置に向けた人材確保、財源確保について
- ・住宅宿泊事業法に関する区の条例制定の必要性について
- ・旅館業法における簡易宿泊所等に関する規制について

### 公明党 保坂 正仁 委員

- ・区における近年の解体工事の件数と今後5年、10年先の解体工事の推移について
- ・仮称「中高層建築物等の解体工事に関する条例」の制定について
- ・公務員の65歳定年制導入の検討状況と総人件費に対する区の見解について

### 共産党 安部 キヨ子 委員

- ・子どもの貧困対策の柱の一つである就学援助入学金準備金の増額と前倒し支給について
- ・第7期荒川区高齢者プランでの特養ホームの増設やサービス付き高齢者住宅の誘致について
- ・東京女子医科大学東医療センターを中心とした医療訓練について

### 民進党 竹内 明浩 委員

- ・2020オリンピック・パラリンピックに向けた、これからの地域活動の担い手について

### 元気クラブ 斉藤 裕子 委員

- ・東京ビッグサイトの閉鎖と、ライドシェアによる「白タク規制解除」に対する都や国への対応

### 日本創新党 小坂 英二 委員

- ・人口密度全国三位の過密都市である荒川区には人口流入抑制策が必要。マンション建設抑制も。

### 改革の会 藤澤 志光 委員

- ・区直営でがん検診を行っている中、荒川区のがん死亡率が高いことについて

### 市民の会 瀬野 喜代 委員

- ・空家を活用した認知症カフェ、こどもの居場所事業への支援について



▲区長答弁の様子



▲委員会室の様子



# 平成28年度決算をこう評価する

10月13日の本会議において、平成28年度一般会計決算について各会派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

区政の全般にわたり区民サービスの向上に向けた着実な前進が図られていると評価  
**自 民 党**



平成28年度決算審査では、西川区長の4期目のスタートにあたり、その成果を確認した。区政の全般にわたり区民サービスの向上に向けた着実な前進が図られており、改めて、西川区政の成果を高く評価する。

財政指標はいずれも我が党が提案した水準の範囲内にあり、引き続き健全な財政状況を維持しているが、今後の数値の動向を注視したい。

防災分野では、防災行政無線の改善、水害時でのタイムラインの周知方法の検討等を期待する。防犯対策では、小学校の通学路における防犯カメラの設置、子ども110番の裏通りまでの拡大の検討等を求める。健康・福祉及び子育て支援では、医療と介護の更なる連携による地域包括支援システムの確立、たばこ対策を含めた健康寿命の延伸等の取り組み、企業主導型保育園の推進、児童相談所の早期設置に向けた人材の確保・育成や財源の確保等を要望する。

教育では、学校パワーアップ事業の更なる充実、国語力向上の取り組み等を要望する。道路や公園等の整備では、区道の電線地中化の更なる推進、区民の利用しやすいデザイン性を生かした魅力ある公園整備等を要望する。産業振興では、中小零細企業のICT化に対する助成制度の創設や支援、子育て中の女性や正規雇用を目指す若年者に対する就労支援策の充実等を期待する。

観光振興及び地域振興では、荒川遊園、都電とバラ、食文化等を積極的に活用し、商店街・町会・地域とより連携を図り、観光振興と地域の活性化を期待する。また、「(仮称)読書の街宣言」や読書活動推進条例の制定を要望する。環境では、蛍光管等の集団回収品目の早期拡大や「あらかわ

リサイクルセンター」を資源循環型社会実現の拠点にすることを要望する。

これからも、限られた財源を有効に活用できるよう、行政評価等による施策・事務事業の総点検等、行財政改革に積極的に取り組むことを要望し、賛成の討論とする。



▲都電とバラ

引き続き区民サービスの一層の向上に努力するよう求め、賛成

**公 明 党**



実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの指標は、いずれの数値も早期健全化基準を大きく下回る良好な水準を維持している。引き続き財政の健全性を確保しながら、必要な施策には予算を重点的に投入する等、更なる効率的・効果的な財政運営を求める。

我が党が区長に提出した「平成28年度予算に関する要望書」は、概ね予算化され執行されている。決算委員会では、仮称「中高層建築物等の解体工事に関する条例」の制定、読書通帳と学校図書との連携、運動場等の空き時間帯の有効活用、在宅育児家庭等に対する支援の場の拡充、成年後見人ネットワークシステムの早期構築等について要望や提案を行った。今後の予算編成作業に反映することを強く要望する。

また、就学援助の入学前支給は、区の状況や他の動向を踏まえ、適宜適切に実施するよう求める。

最後に、区民、議会、団体、事業者等、全ての

ステークホルダーにとって、真に有益な財務情報を提供し、予算決算審議での活用を期待する。

以上、数多くの事業や取り組みを積極的に進め、着実な執行がなされたものと高く評価し、引き続き区民サービスの一層の向上に努力するよう求め、賛成討論とする。



▲区内の運動場の様子

予算執行がバランスを欠いており決算認定に反対

共産党



決算認定に反対の討論を行う。反対する理由の第1は、コンパクト化を求めた複合施設建設整備費に43億円、小中学校1人1人体制のタブレットパソコン6億円等が目立つ点である。暮らし底上げの学校給食費の無料化、介護保険料の軽減、ふろわり200の回数増等を提案する。予算執行がバランスを欠いていると言わざるを得ない。第2に、西日暮里駅前、三河島駅前北地区の大規模再開発は見直すべきである。今求められるのは、防災対策の抜本的な強化、学校の教室不足解消、高齢者支援施設の設置等である。防災と福祉の街づくりに転換するよう求める。第3に、過度な基金の積み立てが問題である。子どもの貧困解消への経済的な支援等が可能である。最後に、待機児ゼロ実現のための対策、小学校についての就学援助の入学準備金支給早期実施を求める。また、区が設置したAEDの認証保育園等へのメンテナンス負担を改善すべきである。シルバーカー等の支給や助成の早期実施、精神障がいに対する区の認定、小規模事業所設備改善補助金の条件緩和等を求める。ゆいの森の運営、図書館の情報システムの改善が必要であると申し述べ、討論とする。



▲小学校の様子

チェック機関としての役割を認識し、審議に臨んだ

民進党



今9月会議の一般質問では、ダブルケアや多重介護等、団塊ジュニア世代、働く世代、子育て・介護世代が抱える課題への区としての認識を確認した。区民にとって最も身近な地方自治体だからこそできる取り組みを求める。

平成28年度予算は、「地域と区民が輝く予算」との方針のもと編成された。決算特別委員会では、この方針のもと、公正・公平に予算が執行されたのか、区民が納得・満足できる施策が展開されたのかをチェック機関としての役割を認識し、審議に臨んだ。委員会の中では、働き手の視点に立った消費者の問題や宅配ボックスの設置等について検討するよう取り上げた。

次年度予算編成にあたっては、委員会の中で申し述べた施策の取り組みを図ることを求め、決算認定に賛成の討論とする。



▲世田谷区役所に設置されている宅配便ロッカー

いま荒川区政に必要なのは、俳句のまちでもローズガーデンでもなく、区民がより良く食べていくことである

## 元気クラブ



南千住等への若年層流入で一見活気を呈するかに見えるが、衰退傾向の地域には対策が必要だ。

工場跡地にマンション開発し放題、狭小敷地に3階建て住宅建て放題、はては税金をつぎ込む駅前再開発。人口増に依存した街づくりをやめ、区民が豊かに暮らせる区政に転換せよ。今まで通りなら、区民は長期政権による停滞を感じるだろう。

価値が高まる吉村昭文学館は出身地の日暮里図書館と併設を。タブレットパソコンで中学生の読解力や日本人の知性は向上するのか？日本語こそ大事だ。除外を求める地権者が続出する西日暮里再開発は事業協力者のご意向か、区長の意志か？区有地限定に計画を変更せよ。災害時対応で評価が高まる清掃直営職員の雇用に舵を切る時期だ。



▲日暮里図書館

国益を常に考え、歴史の縦軸の中で、何をしっかり引き継ぐべきかという大局観を持つべき

## 日本創新党



学校教育全体を道具頼りで自律性の無い方向に劣化させるタブレットパソコンに過重傾斜している。日本人としての軸を育てる教育で誇りを持ち、自ら前に進んで学ぶ児童・生徒を育てることを怠っている。また、議会費では議員定数の24名への削減、議長、副議長の高額報酬の引き下げ等を求める。さらに、外国人学校保護者補助金を廃絶しない区の姿勢は何を護るべきかの本質が理解できていないか、それを見ないよう逃げているとしか

言えない。正面からの議論や説明が何一つなされていない。国益を常に考え、歴史の縦軸の中で、何をしっかり引き継ぐべきかという大局観を持たなければならない。その点が益々蔑ろにされた決算である以上、認定に反対する。



▲小・中学校に導入されているタブレットパソコン

区民への説明は正確であり、誠実に区民と向き合うべきである

## 市民の会



西日暮里二丁目北児童遊園の廃止をめぐる区の動きは、議会に条例提案した後に区民への説明会を行うという「質の低い区政」であった。公園をなくすことは区民の幸福度を下げる。区は、対策を考えるべきである。また、「緑の貧困＝区の緑や公園が少なく当たり前」という連鎖を断ち切ろうと呼びかける。そして、緑化推進を掲げている区の努力を求める。現在解体しているピアホームの改修工事が割高になるとの試算がデタラメだと一級建築士が指摘している。また、二転三転するふれあい館の建て方の説明に区への失望が広がっている。区民への説明は正確であり、誠実に区民と向き合うべきである。以上の意見をつけて、決算の認定に賛成する。



▲西日暮里二丁目北児童遊園

# 国内外の議会から荒川区が注目されています

8月～9月の間、14団体の行政視察を受け入れました。

月 日	視察受入議会名	主な視察項目
8月 1日	 杉並区議会	ゆいの森あらかわについて
2日	 富山県富山市議会	タブレットパソコンを利用した学校教育について
2日	 福井県坂井市議会	子どもの貧困対策について
2日	 東京都多摩市議会	ゆいの森あらかわについて
9日	 京都府福知山市議会	幸せリーグの内容と効果について
18日	 大阪府門真市議会	荒川区民総幸福度について
21日	 神奈川県藤沢市議会	子どもの貧困対策について
23日	 福岡県太宰府市議会	子どもの貧困対策について
24日	 福島県郡山市議会	区報ジュニアについて
24日	 兵庫県西宮市議会	ゆいの森あらかわについて
28日	 岐阜県議会	ころばん体操について
30日	 大阪府大阪市会	都立公園内の保育所設置について
9月11日	 大韓民国仁川広域市富平区議会	荒川区民総幸福度について
28日	 大阪府河南町議会	ゆいの森あらかわについて



▲岐阜県議会 様



▲大韓民国仁川広域市富平区議会 様

## あらかわ区議会だよりの表紙写真を募集します！

1月1日発行予定の「あらかわ区議会だより」新年号の表紙写真（デジタルデータ）を募集します。

【テーマ】荒川区内で撮影した荒川区をイメージする未発表の横向き写真（1人につき1点まで）

【資格】区内在住、在勤または在学の方

【期限】平成29年12月1日（金）午後5時まで

【方法】応募者の氏名・住所（区外在住で区内に在勤または在学の方は、勤務先名か学校名も記載）・電話番号・撮影年月日・撮影場所・写真のタイトルを記入し、写真のJPEGデータを添付の上、Eメールを送ってください。メールアドレス：kugikai@city.arakawa.tokyo.jp

【審査】区議会だより編集委員会で行います（審査に関する問い合わせには応じられません）。

【発表】平成30年1月1日発行予定の「あらかわ区議会だより」新年号に掲載します。

【その他】人物や個人の所有物を撮影した場合は、被写体または所有者の承諾を得てください。

採用された写真は必要に応じてトリミング等、編集を行うことがあります。

採用された写真には、応募者の氏名、住所（町名のみ）及び写真の題名を掲載します。

採用された写真の使用権は荒川区議会に帰属します。

